

1. 般若 (はんにか) : 嫉妬、悲しみ、怒り、女性の情念を凝集した表現している面。
2. 長霊癡見 (ちょうれいべしみ) : 平安時代末期の盗賊「熊坂長範」をモデルにした面。
3. 慈童 (じどう) : 神仙の化身といわれる青年。
4. 十六中將 (じゅうろくちゅうじょう) : 十六歳で源氏との合戦で討ち死にした青年貴族。
5. 邯鄲男 (かんとんおとこ) : 午睡の夢の中で生の栄華を経験し、目覚めてはかなさを知る青年。
6. 三日月 (みかづき) : 武將の幽霊・亡霊を表現している男神。
7. 翁 (おきな) : 天下泰平。国土安寧を願う儀式での神聖な神とされる老人。
8. 黒式尉 (こくしきじょう) : 農作業で真っ黒に日焼けした田の神とされる老人。
9. 景清 (かげきよ) : 源氏に敗れ、その世を見るに忍びないと盲目となった平家の勇將。
10. 小牛尉 (こうしじょう) : 男性の老人を表現した能面師「小牛清光」の創作面。
11. 小面 (こおもて) : 可憐にして端正、可愛い若い女性の代表的な面。
12. 万媚 (まんび) : 万に値する媚、妖艶な若い女性といわれる面。
13. 孫次郎 (まごじろう) : 能面師・孫次郎作、若くして亡くなった妻の面影といわれる面。
14. 宝増 (ほうぞう) : 増阿弥が創作した女性面を能面師・宝来が打った面。
15. 節木増 (ふしきぞう) : 増阿弥が創作した女性面の檜材の節から脂が鼻筋に出た面。
16. 増女 (ぞうおんな) : 増阿弥が創作した品位と知性、物寂しさをたたえた女性の面。
17. 姥 (うば) : 神の化身としての年老いた女性の面。
18. 中將 (ちゅうじょう) : 平安時代の中將と呼ばれた在原業平をモデルにした若き貴族の面。